

遥かな場所

街の灯が夜を眩しく照らして
寂しげな君は少し笑った
このまま 二人は 遥か夢の遠くまで
時を巻き戻し飛び立つんだ

Ah 見上げた空には星が見えなくて
それでも僕らここにいる
Ah 微かな予感は景色を変える
今はただ君の声が聞きたいだけさ

窓辺から朝の光差し込んで
優しげな風に身を任せた
いつかは 二人は 遥か夢の向こうまで
時を繰り返して辿りつくんだ

Ah こぼれた涙は夜空にあずけて
いつでも僕はここにいる
Ah 微かな光は景色を染める
今はただ君を見つめていただけさ

季節が変わる頃に鳥達は歌いはじめ
約束した場所でまた君に会えるよ

Ah 届けたい言葉が心に溢れ
抱き寄せてみた いつまでも
Ah 見上げた空には星が輝いて
ふざけあった瞬間と
今君のはにかんだその笑顔
見つめていただけさ